

令和2年度文化芸術による子供育成事業 —芸術家の派遣事業—

実施した学校 **80校** 小学校、特別支援学校

参加者数 **3,425人**

芸術家たちがコロナ禍の子どもたちを元気に 気持ち前向きにした！

新型コロナウイルス感染拡大により、長期間の休校後に再開した学校では、異例づくめの学校生活となり、様々な制約や未来への希望が見えてこないことへの不安から心身への影響が発表されている。8月末から始まった芸術家が学校に行つて授業を行う芸術家の派遣事業では、コロナ対策ととり、感染防止マニュアルに対応するワークショップ企画構成にした。

芸術家によって子どもたちの目の輝き、表現する心地よさ、伝統芸能への興味関心などが引きだされ、笑顔と元気を取り戻すことができた。

◆特色その1 対象が6年生に集中

コロナ禍での学校生活では遠足、運動会、校外学習、宿泊旅行などの学校行事が取りやめあるいは縮小され、卒業アルバム用の写真がなく困り、対応策として芸術家派遣事業をとりくむことになった。また小学校生活最後の学年思い出の一つとして、申し込みの理由を上げた学校が多数あった。6年生だけを対象にした学校は狂言、歌舞伎、落語、アフリカンパーカッション、パントマイムの分野へ31校あった。



ミュージカルでオリジナルダンスをのびのびと踊り、はじけた。

◆特色その2 キャリア教育への広がり

芸術家の派遣事業を音楽や国語、体育、図工の教科、総合的学習として位置づけてとりくまれているが、新たにキャリア教育としてとりくみ、表現する芸術家を『魅力的な職業』と感じ、多様な職業を知る学習となっていた。落語家や、舞台に立つ人になることを将来の夢に持ったそうだ。

◆特色その3 コロナ禍の子どもたちの心を元気に

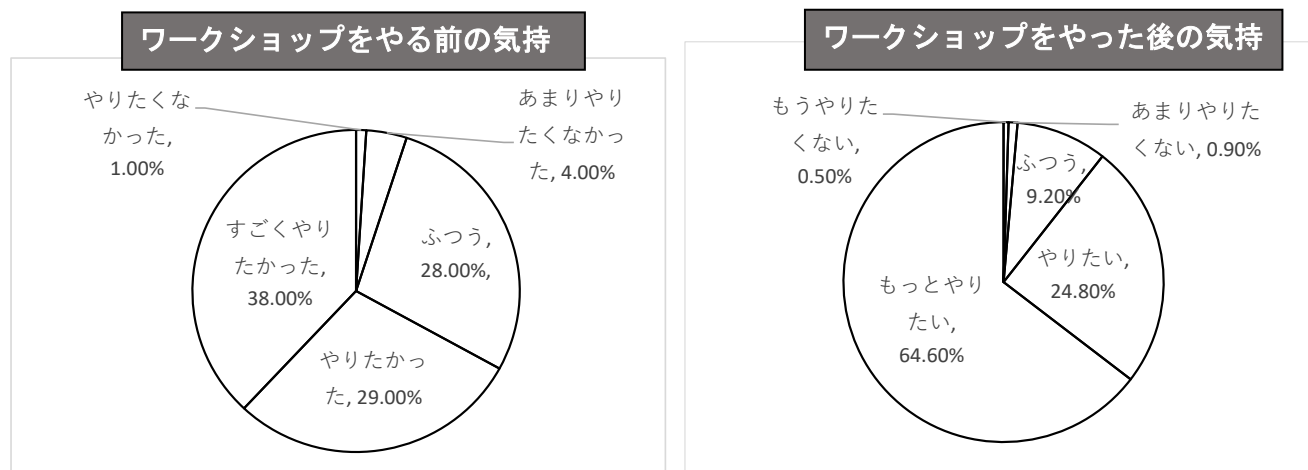
2020年の新学期開始と共に新型コロナウイルス感染拡大防止対策の緊急事態宣言が出されて休校となった。再開後、学校生活が様変わりし、得意分野で力を発揮する場が少なくなった。人と人との出会いや体験の制限が学年末まで続き、子どもたちの心身への影響が懸念される事態になった。

芸術家の派遣事業は8月末から始まり、芸術家派遣の魅力が落とすことなく、検討と工夫を加えたワークショップ企画に作り直し、試行錯誤しながらはじまった。子どもたちがはじめて知る世界に目を輝かせ、発見に胸をおどらせ、五感をフル回転させ満足感を味わった。

子どもたちの声/すご〜く楽しかった！ やる気がわいた！

- ★ 最近は爆笑することがなかったのでも楽しかったです。
- 「ぞろぞろ」「牛ほめ」の話に入りこんでしまつて、こんなに想像させることができるなんてすごいなと思いました。
- ★ お腹から声を出してなんだかスッキリした気持ちになりました。
- 自分で考えたりしたダンス、ふだんならないような動きもおもいついたり、すご〜く楽しかったのです！
- ★ ゲームやえんぎができてよかったですとおもいます。コミュニケーションのうりよくもあがったとおもいます。
- ◎ 今回のワークショップで夢が一つできました。
- ※ 知らないことを知れたのでとってもいい勉強になったし、楽しかった。
- ★ 予想以上にすご〜い音になってとてもびっくりしました。とても楽しかったです。
- ◎ 演奏がすごく上手だったのでやる気がけっこうわきました。
- 狂言が思った以上におもしろくてなみだがでた。
- ★ 自分ですべて考えてできるのでとてもおもしろかったです。
- ◎ 「めだちたがりやだね」と言われてすご〜く悲しかったです。でもダンスはめだちたってもいいとおもいました。
- 2時間がみじかく感じるほど楽しかったです。コロナでできなかったことができたのでうれしかったです。
- ★ 音楽をきいて、とてもおだやかな気持ちになりました。
- ◎ しゃべらなくてもつたわるし、ものがなくてもあるようにできるのがすごいと思いました。

◆実施直後「ふりかえりシート」を書いた子ども 3,425 人の気持の変化



- ・ワークショップの前はあまり気持ちが動かなかった子が33%いたが、やった後は10.2%に減った。逆にやりたくなった子は89.8%まで高まった。
- ・「初めてなので」で始まり、ドキドキ、難しそう、はずかしいからやりたくない、ちょっとイヤ、めんどくさい等と書かれている。そして「思ったより」で始まり、テレビとちがう！どんどん楽しくなった、やってみたらやっぱり難しかったけどでも楽しかった！〇〇さんみたいになりたい！と続けている。安心して、気持ちが動いているようすがみえる。

子どもの参加人数：3,425人

実施校：80校

芸術家の分野別の実施校数

音楽（声楽、器楽、パーカッション）：23校

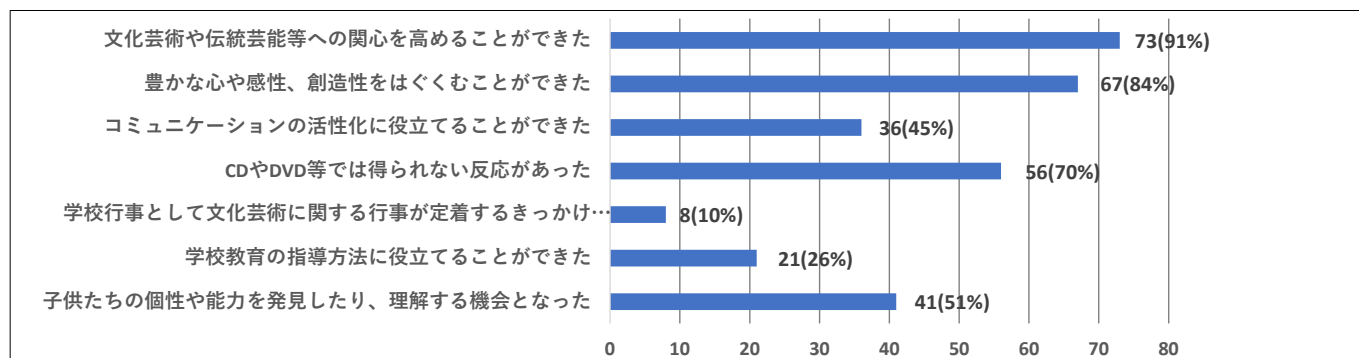
演劇（現代劇、ミュージカル、人形劇、パントマイム、クラウン）：16校

舞踊（現代舞踊、バレエ）：2校

伝統芸能（狂言、歌舞伎、和太鼓）：23校

大衆芸能（落語）：16校

◆実施した80校の「実施状況報告書」でみえた、実施後の効果及び成果（複数回答）



- ・狂言を実際に身近でみてその迫りに皆感動した。アウトプットしたい思いが出たのか進んで表現した。落語ではあまり勉強得意でなかったり目立たない子が手をあげて舞台にあがった。
- ・「非日常の特別感」の中で、友達のよいところを探し、チームワークで取り組むなど学びに大切な要素が組み込まれている。
- ・キットで作ることに慣れているので、材料を自由に選ぶことで発想が豊かになり満足度の高い作品が生まれた。
- ・コロナ禍のため、大人も子どもも心に傷を受けて疲れている。感動体験は傷を癒して前に進むエネルギーになる。
- ・演技、演奏、歌声、ダンス、語り等を五感で体験できるため、記憶や印象に残りやすく、芸術教育として有効な指導法である。また、芸術を仕事にしている人に出会えるのはキャリア教育にもなる。

◆実施後のコーディネーターの感想

- ・この日を心待ちにしていました、と先生の話。コロナ禍のため、多くの学校で行事ができなくストレスを抱えているかもしれない子どもの状況を変える一日になったのではないかと。
- ・担任から子どもたちの集中力のなさ、話を聴けないなど否定的なようすを聞いた。当日講師はゲームの内容などを徹底してわかるように説明したことで、逆転状態になった。楽しい体験で想像&創造力は培われると実感した。
- ・「さすが6年生」という文章が多いことに驚く。表現することは恥ずかしい、難しい、でも楽しいし、面白いといった文章に、想像力をつかうことの楽しさを実感してもらえたように思う。
- ・森のオルゴール（大豆やどんぐりを入れてゆらす）づくりに地域の人からどんぐりの提供があり、学校、講師コーディネーターのおもいがひとつになり、地域の学校を地域の人が支えるすばらしい活動になった。

落語

講師：柳亭市弥 古今亭始 柳家緑太
柳亭市童 入船亭遊京 柳家圭花 柳家小はぜ
伊藤輝(落語協会)

落語は想像力が大事だよ。一人が何と人もの登場人物を演じるんだ。さあ！何人登場したでしょう？



◆プログラム

・落語の解説 ・てぬぐいと扇子の使い方 ・落語の実演「牛ほめ」「初天神」「桃太郎」「転失気」「まんじゅうこわい」「たぬきの恩返し」「もと犬」「平林」から ・高座で演じる体験 ・質問

★体育館の舞台の上に高座をつくり、マイクが置かれ、緋毛氈のあざやかさが目を引いた。解説の後に最初に高座で演じる落語家さんのお話。草履をぬいで両手をついてお辞儀から始まる。同じように子どもたちも演じ、何をしているかを当てる落語家の二席目のお話を聞く。落語が身近になった。
・本物の落語をまじかで見ることができてとてもうれしかった。
・こんなに想像させることができるなんてすごいと思った。
・せんすや手ぬぐいを自分の体の一部のように使いこなせてすごいと思ったのと、千変万化ということばがあるように、できてうらやましいと思った。
・ものを使ってあらわすときや人物に合わせた表情、声、動作が工夫されてやっているからおもしろかった。
・すぐくたのしかつたし、おもしろかった。もっと落語のことを知りたいとおもった。

①	8月27日(木)	柏市立逆井小	4年生	55人
②	9月4日(金)	南房総市立富浦小	4年生	37人
③	9月7日(月)	船橋市立三山東小	4年生	61人
④	9月9日(水)	南房総市立白浜小	3・4年生	34人
⑤	9月28日(月)	市川市立国分小	4年生	55人
⑥	10月14日(水)	松戸市立新松戸西小	4年生	56人
⑦	10月23日(金)	栄町立安食小	4年生	56人
⑧	10月28日(水)	匝瑳市立須賀小	5・6年生	45人
⑨	11月2日(月)	市原市立鶴舞小	5・6年生	30人
⑩	11月17日(火)	松戸市立金ヶ作小	4年生	59人
⑪	12月1日(火)	一宮町立東浪見小	3年生	30人
⑫	12月15日(火)	白井市立白井第二小	4・5・6年生	41人
⑬	1月20日(水)	香取市立香取小	4・5・6年生	39人
⑭	1月26日(火)	茂原市立茂原小	6年生	58人
⑮	2月22日(月)	香取市立津宮小	全校	54人
⑯	3月11日(木)	湖北特別支援学校	高等部1・2・3年生	45人

アフリカの太鼓

講師：BBモフラン ダウディ 典子

◆プログラム

・歌と演奏による講師紹介
・ジャンベ、ドウンドウンバ、トーキングドラムなどの楽器紹介
・アフリカのことば
・パーカッション、ダンスとリズムあそび体験

太鼓はコミュニケーション アフリカのリズムでウキウキ気分



★ソーシャルディスタンスで離れていたが、体育館に響き渡る太鼓の迫力！ライオンキングの歌でアフリカの草原が目の前に広がった。トーキングドラムのおしゃべりや言葉クイズで盛り上がり、愉快的リズムで太鼓体験やダンス、はじけた。体中でアフリカを楽しみ、親近感を持った。
・すごく新鮮な感じがして、アフリカの音楽ってこんなに楽しくなるんだと感じた。
・太鼓の体験をして、音が心に響いて興奮が止まらなかった。「上手いね」って褒められてすごく嬉しかった。
・ヤギの毛を付けた太鼓を叩いた、今までに叩いた太鼓と違いすごく音がなったので驚いた。
・「みそスープ」がアフリカだと「目玉スープ」の意味とかで面白かった。

①	10月2日(金)	成田市立公津小	5,6年生	35人
②	10月13日(火)	松戸市立六実第二小	1年生	43人
③	10月16日(金)	船橋市立高根小	5・6年生	51人
④	10月21日(水)	千葉市立幸町小	1年生・特別支援学級	42人
⑤	10月23日(金)	松戸市立大橋小	6年生	37人
⑥	11月4日(水)	香取市立小見川北小	1・2年生	44人
⑦	11月11日(水)	君津特別支援	小・中・高等部希望クラス	73人
⑧	11月19日(木)	松戸市立八ヶ崎第二小	6年生	52人
⑨	11月20日(金)	浦安市立明海小	6年生	42人
⑩	11月25日(水)	東金市立日吉台小	3年生	32人
⑪	11月26日(木)	富津市立環小	全校	39人
⑫	12月1日(火)	大網白里市立大網東小	6年生	45人
⑬	12月2日(水)	柏市立酒井根西小	6年生	51人
⑭	12月15日(火)	柏市立手賀東小	全校	46人
⑮	12月16日(水)	つくし特別支援	小学部	89人
⑯	12月18日(金)	富津市立富津小	6年生	35人

演劇表現

講師：神山一郎

「お芝居はね、自分で考えて動く。自分の表現したいことをそのまま表現するんだよ。」

①	10月9日(金)	鎌ヶ谷市立南部小	5年生	39人
---	----------	----------	-----	-----

◆プログラム

- ・移動ゲーム
- ・指差しゲーム
- ・入れ替わりゲーム
- ・劇づくり



★「今日は想像力を使った遊びを楽しくやります。コミュニケーションや新しい自分を発見できるゲームです」「3つの約束」を子どもたちに伝えた。体を温めると同時に緊張感を解きほぐすため、体育館を壁から壁へ走り回るゲーム。「お芝居やったことある?」「今日のおしぼいはね、台本はない。即興でアドリブで、インプロでやってみよう」

- ・最初のグループがやったときは、なんでこう動かないんだろう もっとこうすればいいのにと、ものすごく考えていた。一人一人のえんぎでふんい気が変わって来て、とつぜんのことで何をやらばいいかとまどってしまった。このときに人は、一人一人の考えがあるんだと深く思いました。
- ・しばいには正解がないんだなと思った。

歌唱

講師：あらたに葉子 ぴんたろう
上村純（リーフ企画）

本日のミッション「感じながらうたう」！

ーリズム・歌詞・伴奏・楽しくー

①	10月28日(月)	銚子市船木小	全校	65人
---	-----------	--------	----	-----

★はじめの緊張をほぐすように「カムチャッカ 20」楽しい振りつけに全身運動ギター の「かえるの歌」編曲演奏、アフリカの楽器の紹介 小さいシャカシャ 大きなシャカシャカ、「ゆかいに歩けば」ステップを踏みながら歌って心も体もほぐれた。今日のミッション「感じながら歌う」。ひとつひとつをクリアしながら、すべてをクリアし、全員で振り付けして踊り歌った。

- ・たくさんの音が、いっせいにひびきわたって、すごくきれいでした。最後のおどりは、ほぼ全員がそろって、すごいと思いました。
- ・みんなでオリジナルダンスをおどったのが楽しかったです。最初の物語もすご〜く楽しかったです。今日一日とても楽しかったです。最高の思い出です!!

◆プログラム

- ・講師 ・楽器紹介 ・ミニコンサート
- ・「WAになっておどろう」から4つのミッションを目標にして歌うワークショップ
- ・全員で歌おう



「バルーンアートはできても できなくても 人生に何の支障もありません」？！

◆プログラム

- ・クラウンショー披露
- ・バルーンアート体験



クラウン

講師：ブッチィー ぴり
大森ちづえ（蒼い企画）

★二人のクラウンが登場。ボールのジャグリングにすごい連発。チョコレートパフォーマンスでは、「どっちの手にチョコある」に大声援が響き渡った。全員でのバルーンアート体験では絶妙な声かけに笑い合いながら、ネズミ、お花、弓矢が見事に完成。嬉しさにあふれていた。

- ・風船が「バン」割れた時も「ハッピーバースデー」とかいつておもしろかった。
- ・大人になったら、ああいう仕事もやってみたい
- ・最初のパフォーマンスからバルーンアートまでずっと笑いっぱなしでした。ひとつひとつの技術がすごくて目がはなせませんでした。

①	10月6日(火)	市原市立内田小	全校	39人
②	10月22日(木)	市原市立鶴枝小	5年生	21人
③	11月11日(水)	柏市立高柳西小	6年生	54人
④	12月16日(水)	四街道市立山梨小	3・4年生	38人
⑤	1月15日(金)	市川市立須和田の丘支援	高等部1・2・3年生	52人

歌舞伎

講師: 中嶋宏太郎 新村宗二郎
渡会元之 平澤愛 秋元辰美 (前進座)

圧巻! 見事な立ちまわり!

見得、にらみ、立ちまわり、きまった!

①	9月18日(金)	松戸市立常盤平第一小	5・6年生	51人
②	9月25日(金)	松戸市立高木小	6年生	31人
③	9月30日(水)	千葉市立高洲第三小	5年生	64人
④	12月14日(月)	松戸市立貝の花小	6年生	53人
⑤	12月15日(火)	市川市立福栄小	6年生	46人
⑥	12月17日(木)	市川市二俣小	6年生	44人
⑦	12月23日(木)	茂原市立豊岡小	6年生	37人

- ◆プログラム
- ・歌舞伎の解説
 - ・実演
 - ・世話物と時代物
 - ・立ち廻りの体験と発表



★見得を習い、片方の目だけ寄せるにらみも互いにやってみて、「できてる、できてる」の声に緊張がゆるんだ。時代物の立ち廻りの迫力や世話物の「盗人と捕り手」の闇夜の立ち廻りに笑い、感嘆の声と拍手もあがり子どもたちの気持ちを掴んだ。付け打ちの音にも感動。新聞紙の手作りの刀で立ち廻りに挑戦、おにとびが決まってガッツポーズ! 知識と体験が結びついた。

・世話物が好きになった。着物を着てみたい。・手の向き、刀の向きがこまかくおもしろいと思った。自分も自分じゃない人を演じる道をすすんでいきたいと思っているので勉強になった。・実際に歌舞伎を見にいきたいと思った。・動きや息をあわせてやることをはじめて知っておどろいた。・木刀を買いたくなるほど楽しかった。・みんなで盛り上がれたから、すごく楽しかった。

あそびも演じることもPLAY、 失敗をおそれずに楽しもう

ミュージカル

講師: 藤森裕美 東城由依
金村瞳 福岡美里 大川永 向谷地愛 (イツフォーリーズ)

6

①	11月18日(金)	千葉市立朝日ヶ丘小	3年生	41人
②	12月16日(水)	香取市立わらびが丘小	1・2・3年生	中止
③	1月14日(木)	流山市立八木南小	6年生	中止

- ◆プログラム
- ・講師自己紹介
 - ・ミュージカル披露
 - ・グループでお題を表現
 - ・「手のひらを太陽に」うたう
 - ・グループワーク、発表



★「さんびきのこぶた」の短いミュージカルの本物の俳優さんの歌や演技に驚く。おもしろジャンケンであそぶ、グループに分かれて「お題」の動きを話し合いながら作っていった。「てのひらをたひら」の歌にオリジナル振り付けで踊る。からだも心も動かしてまとまっていった。自分たちのミニミュージカルを他のグループと見せあって、達成感を味わった。

・はじめてこんなみじかいじかんでこんなすごいげきがつくれて自分でもびっくりした。
・最初はできないかと思ったけど自分たちにもできてうれしかった。
・ミュージカルをやって「自分たちはできる」と思えばできること

音楽

講師: 松本雅隆 (ロバの音楽座)

身のまわりの音に耳をすませてみよう。

ほら! 自然は音楽だよ!

◆プログラム

- ・耳を澄まして周りの音を聞いてみる
- ・楽器の歴史について
- ・古楽器の話と演奏
- ・森のオルゴールの制作ワーク
- ・バグパイプと森のオルゴールの演奏

★バグパイプのどこか懐かしい不思議な音色に包まれ、音を聞く、楽しむことに感動! トンカチの音とバグパイプの音色のコラボを楽しみながら世界に一つの森のオルゴール完成、打った釘にどんぐりや大豆がカラカラと当たると鉄琴のような音、静かな森にいるような音と子ども達は聴き分けていた。

・楽器ができた理由をみんなで考えてみると、自分の考えを表現するため、人とつながるためなど、自分が考えていなかった考えも出てきておどろいた。

・やっていたらだんだん伝えたい気持ちがわかってきて楽しくなっていて、さいこうな一日だった。

・きれいな音になっておどろいた。なんか落ち着く音で、なんか気分が晴れた。



迫力と臨場感、心に残る演奏 今年は弦楽器の弾き比べ体験

音楽

講師：松本伸二 長尾裕子 高田美樹子
鈴木奈津子（千葉交響楽団）

①	9月10日(木)	市川市立北方小	6年生	51人
②	11月9日(土)	南房総市立富山小	6年生	37人
③	11月27日(金)	浦安市立美浜北小	6年生	40人

◆プログラム

- ・オーケストラの話
- ・実演 ピアノ・ヴァイオリン・
ヴィオラ
- ・楽器体験
- ・演奏と児童の合唱(手・足拍子)



★体育館に響き渡る生演奏の迫力と臨場感に心動かされ、前のめりになっていった。曲に合わせて体を揺らす子や微動だにせず真剣に聞いている子と様々。ヴァイオリンとビオラを弾き比べ体験し、音の高さの違い、意外と軽いか、ビオラの弓が太くて弾きやすい等発見。演奏者の世界を垣間見た。

- ・ヴァイオリンの体験で、弾くと抑える方、片方忘れちゃう。
- ・体験して気持ちいい。力をいれないといい音色が出た。
- ・せんさいな楽器を自由自在にあやつれるのがすごい。
- ・コンサートにも行ってみたいと思った、バイオリンの演奏の時、ゆびの動きも早くてびっくりした。でも音はすごいきれいですてきだった。

人形劇

講師：永野むつみ 大沢直
(人形劇団ひばたあむ)

色とりどりの材料や道具を自由に使っていい！
発想の自由は、誰も邪魔できない！

①	10月7日(水)	市川市立大町小	5・6年生	32人
②	12月1日(火)	浦安市立美浜南小	特別支援学校1~6年生	10人

- ★悩んで選んだきれいな紙袋をギュッとおにぎりに・・・、「え～?!」。勇気を出すとニコニコ!やるぞ!のスイッチが入った。色とりどりのペーパーやリボンに自然と作ってみたいという感情が生まれた。はさみをシャキシャキが気持ちいいと没頭する子。自分で選び作った達成感、最高!
- ・持ち帰った作品に名前を付けて家で話をしていた。
 - ・いろいろなのはっそうがあり楽しかった。わたしはたくさん足のつけた。
 - ・うるこをつけてもあまりおよがず、トカゲとへびをがったいさせた生き物ができた。またつくりたい。
 - ・やってみたら楽しく、どんどん作れた。さいごになんという生き物にするかもちよっと楽しかった。

◆プログラム

- ・3分間人形劇実演
- ・見たことのない生き物をつくろう
- ・どんな生き物が発表



狂言

講師：大蔵教義 吉田信海
小梶直人 上田圭輔（大蔵流吉次郎狂言会）

室町時代から現代までほとんど形を変えずに
伝わっている 伝統の重みを感じた

①	9月1日(火)	木更津市立東清小	全校	55人
②	9月2日(水)	茂原市立新治小	3・4・5・6年生	26人
③	9月3日(木)	茂原市立西小	6年生	40人
④	9月4日(金)	習志野市立袖ヶ浦西小	6年生	29人
⑤	9月9日(水)	野田市立二ツ塚小	6年生	38人
⑥	9月10日(木)	市川市立稲荷木小	6年生	68人
⑦	9月11日(金)	市原市立五所小	6年生	43人
⑧	9月15日(火)	市原市立光風台小	6年生	47人
⑨	9月16日(水)	市原市立戸田小	6年生	27人
⑩	10月12日(月)	九十九里町立片貝小	5年生	25人
⑪	10月14日(水)	富里市立浩養小	5・6年生	23人
⑫	12月8日(火)	いすみ市立東海小	6年生	25人
⑬	12月9日(水)	いすみ市立太東小	6年生	32人
⑭	1月27日(水)	佐倉市立臼井小	6年生	中止
⑮	2月16日(火)	成田市立遠山小	4・5・6年生	中止

◆プログラム

- ・狂言の解説
- ・「柿山伏」披露
- ・登場人物クイズ
- ・発声 構え
- ・装束試着体験
- ・質問



- ★みんなの気持ちをリラックス。「今日、朝ごはんは何食べた?」固まった体もほぐれて、座り方、あいさつの仕方、伝統芸の厳しい所作も体験。実演の「柿山伏」では、子どもたちに質問、「どちらが悪い」に考え込む。実際に使われている、面、衣装を目の前でみながら説明をきいた。声の出し方、笑い方、歩き方を体験。
- ・マイクを使ってる声より、演じている時の声の方が大きくてびっくり。面の表情がゆたかなことをして、すご!!と思った。
 - ・国語の授業でやった時はよくわからなかったけど、じっさいにみて、とても面白かった。

ダンス

講師：安西真幸 安西千紗

「いいね！その動き！」
音楽がかかると…あれ?! 踊れた!!

①	10月7日(水)	市川市立稲越小	5・6年生	57人
②	11月11日(水)	野田市立木間ヶ瀬小	1・2・3年生	85人
③	1月21日(木)	香取市立小見川東小	全校	中止

◆プログラム

- ・ウォーミングアップ
- ・実技披露
- ・みんなで踊る
- ・みんなでダンスを考える
- ・仕上げ ダンスを実演



★学年に合わせたプログラムを用意、相手を感じあう動きがダンスになった。ビニール手袋で支えあいポーズ。密にならない「近づかないおにごっこ」やソーシャルディスタンスを考えた「空気のキャッチボール①ボール②ピンポン玉③生卵④すいか」もいつの間にか振付に。ステップやリズムに乗せて思いっきり踊り気持ちよさそうだった。
・きれっきれでダンスをおどれたのでとてもたのしかった。
・先生のダンスかっこいいなあ〜と思った。ふりつけもかっこよくて…おもしろくて、すっごくたのしかった。さいご、チームにわかれて、自分で考えたり、動きのアイデアを出しあったりして、す〜ごく、楽しかった!!

パントマイム

講師：チカパン (パントマイムプラネット)

◆プログラム

- ・パントマイムショー披露
- ・パントマイム体験
- ・グループで作品づくり
- ・発表

自分のアイディアでやってみよう！答えや正解はない

★真剣に講師の演技を見て歓声があがり、緊張もほぐれて壁のマイム、エレベーターに挑戦。言葉を発しないで色を表現。壁からの脱出では、自分なりの考えで演じて脱出した。自分の頭の中のイメージをパントマイムにすることに集中していた。
・意外とやってみると難しくて苦戦した。だけど自分の気持ちを表現できて楽しかった。
・実物がなくて表現できることがすごい。自分も想像力を使って表した。
・パントマイムって深いんだなと改めて思った。そしてとても興味があった。



①	10月19日(月)	千葉市稲浜小	6年生	35人
②	10月29日(木)	船橋市立田喜野井小	5年生	55人
③	12月8日(火)	市原市立寺谷小	4・5・6年生	37人
④	12月9日(水)	習志野市立向山小	2年生	42人
⑤	12月16日(水)	旭市立豊畑小	6年生	33人
⑥	12月17日(木)	館山市立神余小	全校	15人
⑦	12月18日(金)	旭市立滝郷小	1・2年生	中止
⑧	1月13日(水)	流山市立西深井小	6年生	27人
⑨	3月8日(月)	旭市立鶴巻小	5・6年生	中止

和太鼓

講師：佐々木美菜子

MORIMITSU 河原貴裕 関根まこと 坪本寧央

◆プログラム

- ・講師演奏
- ・楽器紹介
- ・準備体操
- ・体験ワーク
- ・太鼓体験、発表会
- ・大太鼓をたたく
- ・講師演奏



いいね！ダイナミックだよ！
歌にするとできちゃうよ。みんないいね！

★体育館にずらりと並べられた長胴太鼓、締太鼓、桶胴太鼓、平胴太鼓。講師の演奏が始まるとあちこちから驚きの声があがった。「どんぐりころころ」の曲に合わせてリズムを覚えていく。グループ交代で叩いていくと音も大きく強くなってきた。緊張から自信に変わり、最後はどの子も見事な演奏になった。終わりには表情が変わり達成感をえていた。
・すごくむずかしかったけど、頑張ってよかったなと思った。
・音がすごくていんしょうに残りました。大たいこがすごく大きくてやりたくなりました。もっと1やりたくなりました。

①	10月9日(金)	千葉県盲学校	小学・中学部	18人
②	11月11日(水)	我孫子市立布佐南小	3年生	23人
③	12月4日(金)	東金市立源小	全校	26人
④	1月29日(金)	いすみ市立東小	5・6年生	中止

バレエ

講師：日原永美子

山口緋奈子 吉田邑那 中武啓吾

◆プログラム

- ・バレエの歴史と解説・「白鳥の湖」の解説・実技披露
- ・ワークショップ ストレッチ、手足のポジション説明
- ・バーレッスン・センターレッスン・マイム バレエのお辞儀

①	2月16日(火)	旭市立飯岡小	6年生	中止
---	----------	--------	-----	----